



創立70周年「つづく つながる 夢を育てる学び舎」

令和4年(2022年)3月24日

国立二小だより

国立市立国立第二小学校

校長 小林 理人

二小桜からの祝福とエール



校長 小林 理人

今週に入り寒い日が続いています。ようやく咲き始めた淡いピンク色の桜が、コロナ禍の1年間、学ぶことや楽しむことを諦めずに頑張った子供たちに祝福とエールを送っています。

明日は二小桜に見送られて73名の卒業生が国立二小を巣立ちます。この1年、学校のリーダーとして、学校生活を楽しくするために様々な挑戦をし続けた6年生に「よく頑張ったね。卒業おめでとう！」と二小桜も見送りに加わります。

今日は修了式がありました。修了式では児童を代表して、1年生が、できるようになったことや頑張ったことを堂々と発表しました。また、3月の取組を中心に新しい年度に向けて、成長を確かめたり準備を進めたりする頼もしい姿を私から紹介しました。

二分の一成人式(4年)と感謝の会(6年)

今年は、保護者の皆様をお迎えし、感謝の気持ちを伝える2つの会を対面で実施することができました。

4年生の二分の一成人式は体育館で行いました。全員で声を合わせる発表や音楽の合唱などが規制により出来なかったことから、動画での発表や合奏を保護者の皆様に見ていただきました。

6年生は、これまでの経験を活かし、保護者の皆様に感謝の気持ちを伝える内容をみんなで考えました。そして、直接ご覧いただくことが出来なかったことをクイズにし、楽しみながら保護者の皆様にお伝えしました。また、会の最後には合奏やお手紙で感謝の気持ちを伝えました。

自らの成長を確かめ、伝える学習(2・3年)

2年生は生活科の学習で一人一人の成長の記録(本)をつくりました。これまで頑張ってきたことになったことや、それに関わってくくださった方への感謝などを、学習で身に付けた力を活かして一冊の本にまとめました。また、プラタナスでは等身大の絵を描いて自らの成長を伝えた子供もいました。

3年生は、総合的な学習の時間に取り組んだ芝生の引継ぎをしました。自分たちが取り組んだことや来年の3年生に伝えたいことを分かりやすくまとめて掲示をしました。その作品を2年生が熱心に見ながら進級に向けて目を輝かせていました。

新入生の教室づくり(1年)と引継ぎ活動(5年)

1年生は、例年、入学式で演奏やよびかけを披露しますが、新1年生のみの入学式となるため、お祝いと励ましの思いを入学式で伝えることが出来ません。そこで、これまで学んだことを活かして新入生が使う教室の装飾づくりを行い、お祝いと励ましの気持ちを伝えようとしています。

4月から最高学年となる5年生は、6年生との引継ぎ活動を行いました。伝統の二松ソーランの踊りはもちろんのこと、踊りに込める「二小魂」についても丁寧に教えてもらいました。また、卒業式の予行練習に参加をし、二小の伝統を引き継ぎ、新しいリーダーとなることへの決意を新たにしました。

修了式を終えて、各学級では今年度最後となる活動や学習が行われていました。そして、1年間の教育活動を笑顔で修了した子供たちにも、二小桜が「よく頑張ったね。えらいね。」とエールを送っていました。

結びになりますが、子供たちの成長を支え、励ましてくださった皆様に心から感謝申し上げます。

皆勤賞 おめでとうございます。

271人の児童が年間の皆勤でした。1年間を通して体調の管理に努めたこと、学校に休まずに登校できたことは素晴らしいことです。

そして、6年生の4名は、6年間の皆勤です。おめでとうございます。